

科目名		一級設計製図課題演習				
担当教員		平山 貴士		実務授業の有無	○	
対象学科		一級建築士専攻科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数		時間数	240
授業概要、目的、授業の進め方		<p>1級建築士の設計製図試験に合格するための技術の習得を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計条件等をしっかりと読み解く能力を習得する。 ・制限時間内に図面を書き上げる製図能力を習得する。 ・エスキースでミスの無いプランニング能力を習得する。 ・表現力豊かな図面の作成能力を習得する。 				
学習目標 (到達目標)		6時間30分で1級建築士設計製図試験の課題が完了し、合格できることを目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		<p>一級建築士試験製図テキスト(総合資格)</p> <p>一級建築士試験図面の書き方(総合資格)</p>				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	当年度課題に対する基本事項説明			当年度課題に特化する建物用途、建築法規、一般的知識の向上を重視し学習を行う。		
2	要点の文章構成能力の向上			図面の補足をする要点で、間違いのないアピール方法、文章構成、アピールできる内容を書けるように学習を行う。		
3	エスキースの設計能力の向上			当年度課題に対する設計能力を向上させるために建物用途に応じた一般的な知識と、建築的知識を学び、バランスよくまとまったエスキースが計画できるよう学習を行う。		
4	作図速度向上のための作図トレーニング			当年度課題に対する図面作成の手順と、忘れ物が極力発生しない図面の書き方の学習を行う。		
5	最終チェックを含めた時間の使い方			模擬問題を通し、課題文の全てを網羅できるような、読み落としのないチェックを習得する。課題に対する失格項目や減点項目への理解を深め、ランクIを目指す学習を行う。		
6						
7						
8						
9						
10						
成績評価基準				履修上の注意		
課題	取組姿勢			一級建築士製図の難易度は高く、合格率10%程度の学科試験を通過した受験者の中から例年30%程度の合格率である試験です。確実に製図試験で合格するためには製図試験の上位10%を目指す科目だと思ってください。そのため要求が多く、レベルの高い授業になります。せっかくの一年を無駄にしないよう共に頑張りましょう。		
80 %	20 %	%	%			
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		平山 貴士：設計業務に7年、住宅新築・改修工事に7年携わっている。				